

本に親しめる 図書館づくり

奥出雲町立横田中学校

1. 書架の大移動



学習をする机と書架が離れている。(整備前)

【図書館左側】 (整備前)



全ての本が左側に集中し、本が見えにくい。書架も高く、圧迫感がある。座って本を開いて見たり、書いたりするスペースが少ない。文学以外の本に目が向きにくい。

【図書館右側】 (整備前)



右側は机と少しの本だけで休み時間などほとんど生徒の姿がない。書架と学習机が離れすぎている。

↓ (整備後)



書架を幅半分に分離させ、書架を斜めに配置し、本が全てこちらを向いているようにする。9類を中心とした<楽しみ読みスペース>に。

↓ (整備後)



左側と同じく書架を斜めに机を囲むように配置。調べ学習で使用頻度の高い0類～7類まで並べた<学習スペース>に。

【入り口を中心に書架を斜めに半円を描くように配置することで広がりのある空間に】



(整備後) どんな本でも探しやすく、手にとりやすくなった。

【空間を広げると……】



(整備前) 窓下の書架が右側の高い本棚に隠れて見えにくい。

(整備後)



斜めにすることで、窓下の書架も見やすくなり、座るスペースも増えた。



(整備後)
自分の好きな場所で本が読める



窓には本の日焼けを防ぐ紫外線カットフィルムを使用。

2. 温もりのある図書館に

看板

～木を使ってあたたかさを出す～



近くの桜の枝と葉を使って。

本の表示

～掲示板、類表示、小分類表示を
コルクで統一して柔らかい印象に～



インクジェットフィルム用紙で加工。



厚さ 1 cm のコルクを使って。

3. 生徒の反応

初めて見た時の声・・・

うわあ、広くなった！
本がこっちを向いていていい。
落ち着く場所がある。
こんな部屋がうちの家に欲しいなあ。
本が見やすい。
などなどがありました。

